



台紙



プリスター

チューブカッタ 32
品番：TC-32

■仕様

切断対象材	薄肉ステンレス鋼管・銅管(軟質・硬質)
管の外径	φ 4 mm ~ φ 32 mm ($\frac{3}{16}$ ~ $1\frac{1}{4}$ 寸) 最大肉厚 3 mm

■安全上のご注意

⚠ 警告

切断された管の切り口は鋭利になっています。手指などを負傷する危険性がありますので直接、触れないでください。

⚠ 注意

- ①チューブカッタは、取扱説明書記載の用途以外には使用しないでください。誤った使用をされますと破損やケガの原因となります。
- ②ご使用前には各部の点検をして異常があれば使用を中止し、修理または交換が済むまで使用しないでください。
- ③カッタホイールは管に直角に当て、こじたり、ねじったりしないでください。
- ④各摺動部には時々注油をしてください。
*ベアリング部への注油はグリス系の潤滑剤の使用をお勧めします。揮発系の潤滑剤はベアリング内部に充填されているグリス分を流し出してしまう恐れがあります。

■使用方法

1. 握りを回し、ローラーとカッタホイールで切断する管をくわえてください。
2. カッタホイールが管に当たってから、握りを約 3/4 回転程度回して管にカッタを押し付けてください。
①本体を前後に約 90° 程度の範囲で 2 ~ 3 回往復させたあと、管の周りを一周させ全周に切り込み線をつけます。(図 1)
*切り込み線がラセンになっていない事を確認してください。
②その後、握りを徐々に回し(本体 1 回転につき握り 1/4 程度)カッタホイールの切り込みを深くしながら切断を行ってください。
*切込みを一度に深く入れすぎると、管が変形したり、カッタホイールの寿命を短くする原因となります。適度な切り込みによってきれいで変形のない切断面が得られ、カッタホイールも長持ちさせる事ができます。

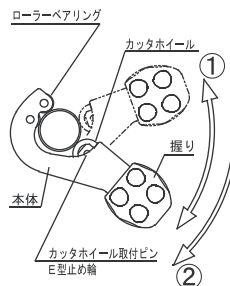


図 1

- カッタホイール(刃)の交換 替刃(ベアリング付):品番 TCE32
カッタホイール(刃)は、消耗品です。切れ味が悪くなったり、欠けたりした時は刃を交換してください。

刃の先端は非常に鋭利になっています。十分に注意して作業を行ってください。

1. カッタホイールを固定しているピンのE型止め輪を外してピンを抜き、カッタホイールとベアリングを取り外してください。
2. 新しいカッタホイールとベアリングを外した逆の手順で組み立ててください。

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所

(059)234-2454
<http://www.mccc corp.co.jp>



4 989065 111134